

まちの声



今回の「まちの声」は、元町職員で1区20町内にお住いの「北井欣一さん」にお話を伺いました。



Q 議会だよりを読んでいますか。

A 「議会だより」は、毎回かかさず読ませて頂いています。議事堂に行かなくても、内容をよく理解できると思います。

Q 妹背牛町は住みやすいですか。日頃感じていることは何ですか。

A 本町で生まれてから77年住んでいます。人口は最大時の約30%になっていますが、人情味があり、特に夏や冬においては、水害や除雪等も行き届き、老人クラブの活動等も活発に行われているように思います。

Q これからの妹背牛町へ要望や何かお気づきの点がありますか。

A 新聞等で妹背牛町が衰退するような報道等もありますが、本町は山・海・国道もない町として、その状況を表に出しながら、住みよい町等をアピールできないものでしょうか。

また、妹背牛温泉ペペルもリニューアルオープンされましたが、町外からの入館者の増加を図りながら、観光にも力を入れていただければと思います。



Q 議会だよりについての要望はありますか。

A 年に1度は、各議員さんの組方針を掲載しても良いのではと思います。

Q その他何かありますか。

A 年々人口が減少していく中にあるので、議員の高齢化が気になります。議員報酬等がある程度アップさせる等で若年層にも参加できる体制作りがあっても良いのではと思います。

編集後記

町民の皆様におかれましては春の健やかなお迎え、心よりお喜び申し上げます。

今冬は、積雪が多い年で豊作が予想されるのではないのでしょうか。農作業がスタートし、融雪剤の散布、ハウス作りと進められ、いよいよ田植え時期を迎えています。販売・購入価格にも期待しています。

さて、先に開催されました第1回町議会定例会では、新年度予算審査が行われ、一般会計、特別会計、企業会計の予算ともに可決されました。また、町政に対し6人の議員により一般質問が行われ活発な討論がなされました。「議会だより」とYouTubeの配信をお気軽に視聴ください。

リニューアルから2年目の『妹背牛温泉ペペル』は、自慢のかけ流しの温泉が良さです。また更なる特色としてサウナを整えました。町民のみなさまにおかれましてはぜひ、まず入館してこれらを一緒に応援し、育てていきたいと感じております。そしてそれを町内・町外へPRしていただければと思っています。議会改革特別委員会がスタートしています。議論を十分にしながら改革に向かって行きたいと考えています。今後とも議会だよりを通じて議会活動をお伝えすることが出来るよう努めてまいります。町民の皆様のご要望をお寄せ頂きますようお願い致します。

広報特別委員会

委員長 中山 義博
副委員長 成瀬 勝幸
委員 鈴木 正彦